



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 血液内科 正木 哲寛

【研究責任者】

聖路加国際病院 血液内科 正木 哲寛

ニューモシスチス肺炎予防のためにトリメトプリム・スルファメトキサゾール錠（バクタ錠・ダイフェン錠）を内服している方を対象とした有効性・安全性に関する研究

1.研究の対象

2010年1月1日から2022年12月31日に当院でトリメトプリム・スルファメトキサゾール錠(バクタ錠・ダイフェン錠)によるニューモシスチス肺炎に対する予防を開始された方

2.研究の目的・方法

免疫が弱くなる病気で治療を行った方はニューモシスチス肺炎という重篤な肺炎にかかるリスクが高くなります。そのため、リスクが高くなる方にはトリメトプリム・スルファメトキサゾール錠などを予防的に内服することが行われていますが、予防に関して効果的なお薬の用量や回数は、明確には分かっていません。そのため、当院で同薬を使用した方がどの程度、ニューモシスチス肺炎を予防できたか、どのような副作用が出たか調べることになりました。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2024年12月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年1月29日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、免疫抑制をきたす治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号、等

《試料》 血液検査の結果、画像検査の結果